

算数

第3学年

育成を目指す資質・能力

【思考力・表現力】

【協働性】

「長江の宝物をリサーチして、伝えよう！（表とグラフ）」

【単元の概要】

総合的な学習の時間に「長江の宝物」を調べ、その結果を分かりやすく表現する方法として、算数の授業で表やグラフを学習することを知ります。「どんなグラフがよいか」、「目盛りはどうするか」等、児童が課題を設定し、主体的に解決していきます。児童が必然性をもって資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようになる単元です。また、「長江の宝物」をテーマとしたこの学習は、地域を知ることを通して、児童が地域の一員として自覚をもち、積極的に地域に関わろうとする気持ちを高めることや、地域の人々の思いを知ることでもできる単元です。

◆単元の目標

身の回りにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができる。

◆単元の計画（全8時間）

【課題の設定（※総合的な学習の時間：1時間）】

・総合的な学習の時間に3～6年生に「長江の宝物」についてアンケートを実施し、その結果を発信する計画を立てる。集まった資料の整理の仕方や結果を分かりやすく発信するにはどうすればよいか考える。

【情報の収集・整理分析（6時間）】

- ・「長江の宝物」についてアンケートの結果を分類整理する方法や「正」の字を使って整理するよさに気付き、集計結果を表にまとめる方法を知る。
- ・整理した表を誰にでも分かりやすくする方法を考え、丸グラフや棒グラフに表す。友達とかかわりながら棒グラフに表すことの良い点や有用性について考える。
- ・棒グラフに表しながら、項目の取り方や目盛りの大きさなど考え、棒グラフの正しいかき方を理解する。
- ・棒グラフの縦軸の数値に着目し、棒グラフが示す情報を正しく読み取る。
- ・目盛りのつけ方の異なるグラフを比較する活動を通して、それぞれの違いやよさについて話し合う。
- ・学年ごとに集計した表を一つの表にまとめる方法を考え、一つの表にまとめるよさについて話し合う。

【まとめ・表現（1時間）（※総合的な学習の時間：1時間）】

- ・学習したことを基に「長江の宝物」をより分かりやすく伝えるためのグラフを作成する。
- ・作成したグラフを掲示板に掲示し、校内に発信する。

【振り返り（1時間）】

- ・単元の学習を振り返り、単元で付いた力を振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「世界に1つだけのロボットをつくるう（かたち1）」
	1	「さんすうえほんを完成させよう（たすのかなひくのかな）」
	2	「まどからこんにちは！（三角形と四角形）」
	2	「たからものボックス作りにチャレンジ！（はこの形）」
	3	「弟子入り体験につけていく三角バッジを作ろう（三角形）」
	4	「大きいチョコレートをゲットしよう（面積）」
	4	「ジュースの残りはどれくらい？（分数）」
	5	「体力アップ！！達成したのは何%？（割合とグラフ）」
	6	「分数÷分数はどうやって計算するの？（分数のわり算）」
総合的な学習の時間	6	「どのルートで行けばいいのかな？（速さ）」
	3	「長江のたからもの PartⅢ～地域交流会を開いて、感謝の気持ちを伝えよう～」
	4	「尾道の魅力を探して伝えよう～日本遺産に認定されたわがふるさと～」
	5	「おのみち観光ガイド～めざせ！！おのみち観光大使！！～」
	6	「守り、伝える『長江の心』～地域に学び 地域に生きる～」